



国産材利用促進に向けた取組み

この4月から徳島県内の4つ建築設計関連団体が共同運営する「とくしま木造建築学校」の取組について、徳島森林管理署では、その活動を支援しました。

とくしま建築学校は、実際に木造建築に携わる設計事務所や工務店のスタッフなどを対象に WEB 上での講座形式で行われるもので、木質材料、構造、環境と省エネ、耐久性の4分野で、更に細分された様々な講座から構成されています。徳島森林管理署では、木材を生産する川上側の森林の現状と、なぜ今国産材を利用しなければならないかを内容とした講座を担当することとなり、3月22日収録しました。徳島森林管理署では、様々な形での民国連携（支援）に取り組みます。



講座収録の様子（署長）



木造建築（徳島署庁舎）



専門家による講座（収録）



軸組構造による建築（途中）



課所長の挨拶



図上で位置を確認

民国連携した協調施業、協調販売の推進



図、写真：イメージ

徳島水源林整備事務所との運営会議を開催

3月9日、徳島署会議室において、平成29年度の事業調整を図る連絡会議を開催しました。

会議では、徳島署と徳島水源林整備事務所が関係する4つの森林共同施業団地についての事業調整を行いました。次年度においては、国有林野事業と水源林事業の双方の事業が計画される団地はありませんでしたが、引き続き、中長期的な民国連携の実現に向けた事業調整と、様々な分野における現地検討会の実施について、協力して行っていくことを確認しました。

徳島署では、既存の森林共同施業団地をベースとした民国連携の実現にも取り組んでいきます。

民有林の林野災害時にドローンを活用

徳島署では、三好市内に所在する民有林が台風などで被災した際に、徳島署が所有するドローン（無人航空機）を飛ばし、空撮による被災状況の確認や被災範囲、原因の推定などの支援を行うとした協定を、三好市（黒川征一市長）との間において、3月23日締結しました。

協定では、被災状況の確認、被災範囲・原因の推定のほか、被災地における災害対策まで提案することとしています。さらには、被災地域で通信ラインが災害で被災した際には、徳島署が所有する衛星携帯電話を活用し、被災状況の伝達に加え、孤立集落住民の安否情報まで提供する内容となっています。徳島署では、このような新たなスタイルでの民有林支援にも取り組んでいきます。



協定締結



協定書を交換



ドローン



林地被害（イメージ写真）



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
 TEL:088-637-1230 / FAX:088-666-1818
 〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

